

浜岡原子力発電所3～5号機 排気筒改造工事の開始について

平成 18年4月12日

当社は、耐震裕度向上工事(※1)として、平成17年12月21日より「3～5号機の配管ダクト周辺地盤改良工事(※2)」、平成18年3月23日より「4号機の配管サポート改造工事(※3)」および「4号機の電路類サポート改造工事(※4)」を実施しています。

(平成17年12月21日、平成18年3月22日お知らせ済み)

この度、事前調査(※5)や工事エリアの干渉物移設・撤去工事(※6)が終了したことから、本日(4月12日)より、「3～5号機の排気筒改造工事(※7)」を開始することとしましたので、お知らせします。

工事に際しては各号機同時に作業を実施し、今後、支持鉄塔の基礎工事を約8ヶ月間実施した後に、大型タワークレーンを用いて排気筒に支持鉄塔を設置する予定となっています。

※1 浜岡原子力発電所の耐震裕度向上工事は、当社が自主的に目標地震動(岩盤上における地震の揺れで約1,000ガル)に基づく評価を実施し、排気筒の改造、屋外原子炉機器冷却設備の改造等、必要な工事を順次実施していくものです。

(平成17年1月28日お知らせ済み)

※2 「3～5号機の配管ダクト周辺地盤改良工事」は、屋外の地中に設置した配管ダクト周辺の地盤を岩盤と同程度の固さに改良する工事です。

(平成17年12月21日お知らせ済み)

※3 「4号機の配管サポート改造工事」は、既設のサポートを改造するとともに新サポートを追加設置する工事です。

(平成18年3月22日お知らせ済み)

※4 「4号機の電路類サポート改造工事」は、ケーブルトレイや電線管の既設のサポートを改造する工事です。

(平成18年3月22日お知らせ済み)

※5 「事前調査」は、ボーリング調査を行い、鉄塔の基礎となる地盤の強度を確認する作業です。

(平成17年4月18日お知らせ済み)

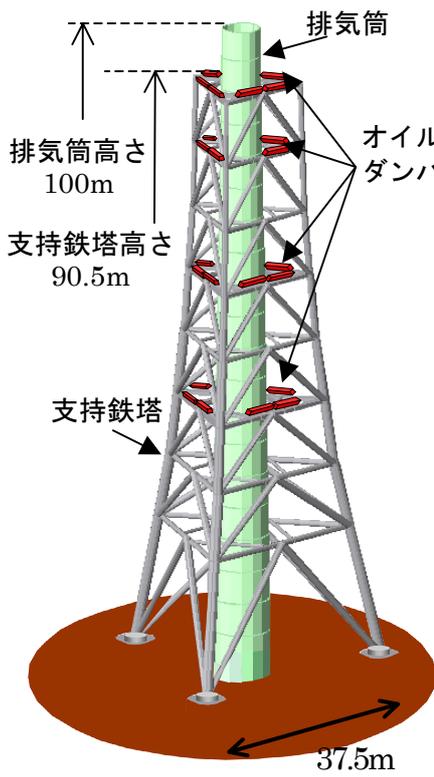
※6 「干渉物移設・撤去工事」は、工事に干渉する配管や電気ケーブル等の移設・撤去を行う工事です。

(平成17年10月7日お知らせ済み)

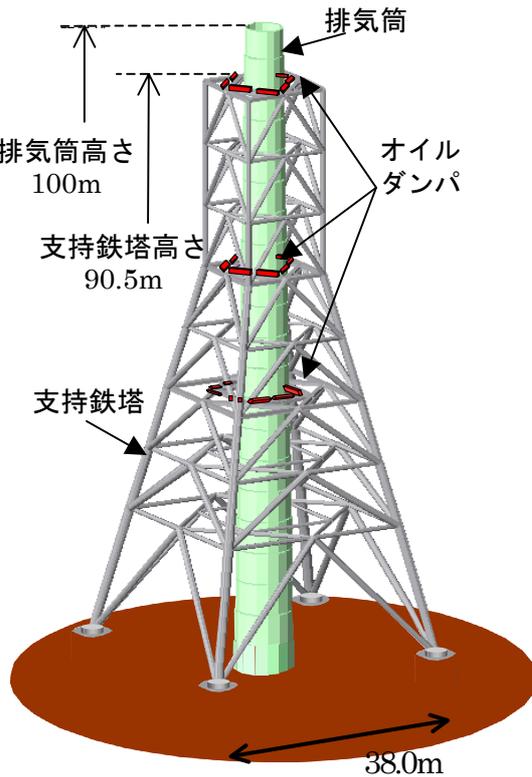
※7 「3～5号機の排気筒改造工事」は、地震時の揺れに対する排気筒の耐力を増すため、排気筒を囲うように支持鉄塔を設置する工事です。

以上

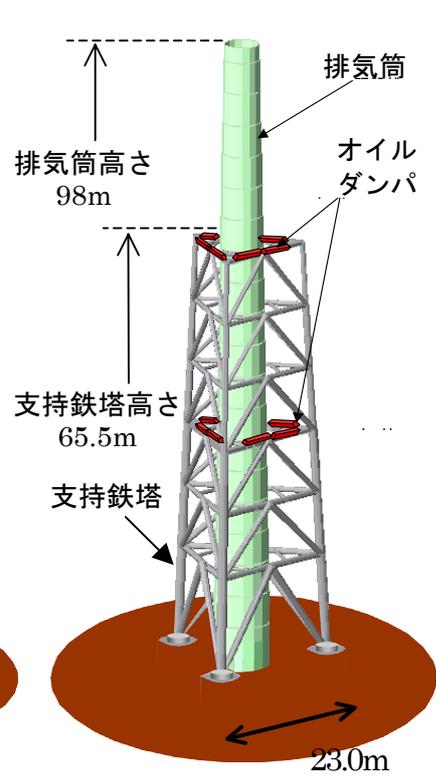
3～5号機 排気筒改造工事 完成図



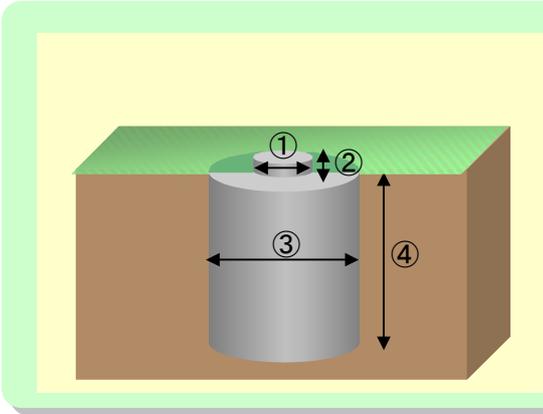
【3号機排気筒】



【4号機排気筒】

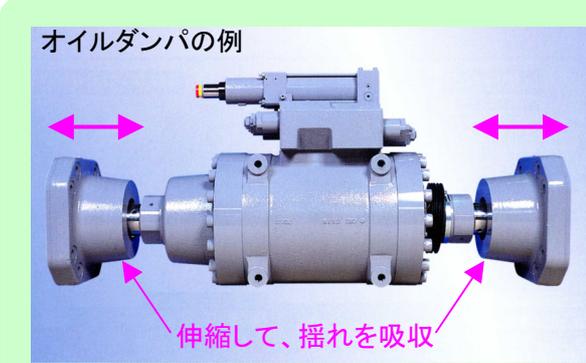


【5号機排気筒】



支持鉄塔基礎

	3号機	4号機	5号機
①地上部直径	2 m		
②地上部高さ	0.5 m		
③地下部直径	6 m		
④地下部深さ	20 m	21.5 m	17.5 m
材 質	鉄筋コンクリート製		

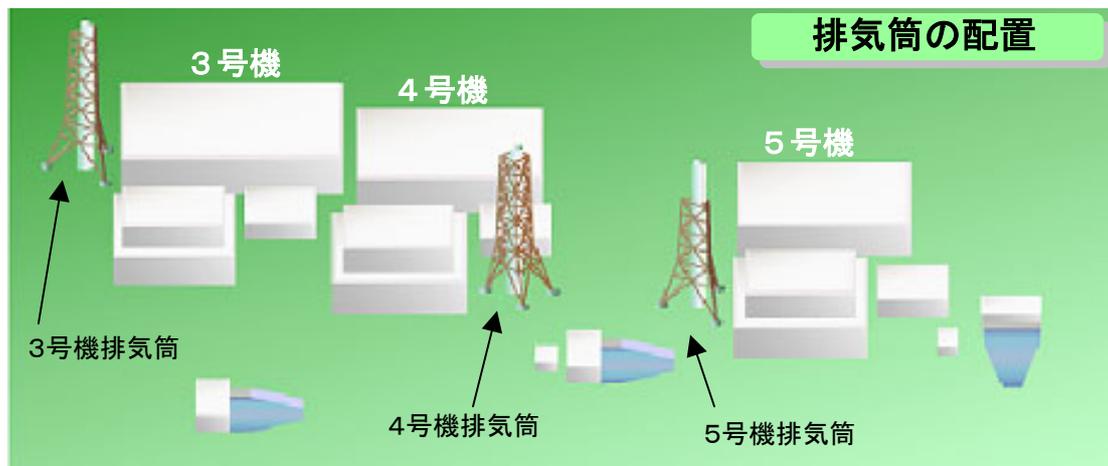


オイルダンパ

地震が発生した際は、排気筒と支持鉄塔では揺れ方が違うため、接続部にオイルダンパを設けて、排気筒の揺れを小さくします。

3号機	4号機	5号機
30台	32台	24台

3～5号機 排気筒改造工事 概要図



排気筒改造工事の流れ(3号機の例)

